

(様式第 1 号)

「千葉ものづくり認定製品」認定申請書

年 月 日

千葉県知事 熊谷 俊人 様

住 所 〒

会 社 名

代表者氏名

千葉ものづくり認定製品認定要領第 6 条の規定に基づき、認定を受けたいので下記書類を添えて申請します。

記

- 1 千葉ものづくり認定製品申請調書（別紙 1）
- 2 誓約書（様式第 2 号）
- 3 登記事項証明書（履歴事項全部証明書）
- 4 損益計算書及び貸借対照表（直近 3 期分）
- 5 役員等名簿（別紙 2）
- 6 参考資料（会社案内、製品パンフレット、特許関係資料等）

以上

(別紙1)

「千葉ものづくり認定製品」申請調書

1 申請者の概要

フリカゝナ 会 社 名		フリカゝナ 代表者氏名	
本社所在地	〒		
	T E L		F A X
工場所在地 (千葉県内)	〒		
	T E L		F A X
担 当 者	所属・役職		フリカゝナ 氏 名
	T E L		E - m a i l
会 社 概 要	設立年月日	年 月 日	U R L
	資 本 金	千円	従 業 者 数
	業 種		
	事 業 内 容		
	主 要 製 品		
	主要取引先		
表 彰 等 (名称・時期)	表彰・受賞		
	I S O 認 証		
申請資格の 確認	「千葉ものづくり認定製品認定要領」第3条に規定する申請者の資格を満たすことを確認しましたか。		(チェックを入れてください。) ☐ 確認しました。

※業種は、日本標準産業分類の中分類により記入してください。(例：電気機械器具製造業)

※必要に応じて、枠を拡大して作成してください。

※できるだけ図や表を用いて、分かりやすく記載してください。

2 申請製品の概要

製 品 名	(この項目のみが認定後に報道された場合でも、何ができるどんな製品かが分かる名称を20文字以内でご記入ください。(例) ●●用▲▲機器「(製品名)」／○○な△△「(製品名)」等)
製 品 概 要	(申請製品の機能や用途・特徴等を一般の方が分かるように簡潔に箇条書きでご説明ください。この項目は認定製品のガイドブック等の製品説明文として使用させていただく場合がございます。)
販 売 価 格	(商品の単価を税込みでご記入ください。オーダーメイド品等で決まった単価がない場合には、過去の例などをご提示ください。製品に付属品がある場合は、付属品についてもご記入ください。)
販売開始時期	(申請時において、販売開始から概ね5年以内の製品であることが条件です。) 年 月
販売累計数	件 千円 (年 月 ～ 年 月)
主な販売先	

製品写真 及び説明図	(申請製品の写真及び特性や機能、機構等を示す分かりやすい説明図を貼付してください。次頁にわたっても構いません。この項目の写真や図は、認定製品のガイドブック等の製品説明文として使用させていただく場合がございます。)
---------------	---

3 申請製品の新規性・優位性

開発の経緯	(申請製品の開発に至る背景、経緯、過程等についてご記入ください。過去に同認定を受けたことのある製品を改良した場合には、その点についても触れながらご説明ください。)
新規性	(申請製品について、技術的に従来製品と比較してどのような違いがあるのか詳しくご説明ください。比較にあたっては、表などを用いて分かりやすくご記入ください。) ※審査に当たって重要な項目です。
優位性	(競合他社製品や既存の自社製品と比較し、どのような部分が優れているのか技術的な優位性（性能等）と市場における優位性（価格等）の2点について、その優位性が実現できた要因などにも言及しながらご説明ください。比較にあたっては、表などを用いて分かりやすくご記入ください。) ※審査に当たって重要な項目です。

技 術 力	(申請製品のコアとなる技術力について、独自性や難易度、克服した技術的課題などをふまえてご説明ください。自社のノウハウ等をどのように活かしたのか、課題に対してどのような手法を用いて解決したのかについてもご記入ください。) ※審査に当たって重要な項目です。		
申請製品に関する特許の取得状況 (実用新案等は除く)	出願(公開・登録)番号	出願(公開・登録)年月日	発 明 の 名 称

(出願準備中、出願中等の段階であれば、その旨をご記入ください。)

4 申請製品の市場性

対 象 市 場	(申請製品の対象となる市場やターゲットとしている顧客についてご記入ください。また、今後展開を計画している市場等についてもご記入ください。)
市 場 特 性	(対象市場における申請製品のニーズ、市場規模、成長性、競合状況等についてご記入ください。)

5 申請製品の信頼性

生産体制	(申請製品の生産拠点、生産管理体制についてご説明ください。)
品質保証	(申請製品の品質や信頼性を保証するための体制について、ご記入ください。)
安全性	(製品使用時の安全性を確保するための仕組みや試験データについて、詳しくご記入ください。また、留意点がありましたらご説明ください。)
環境負荷低減への配慮	(環境負荷低減への配慮に対する取り組みについてご説明ください。)

6 経営状況

過去3期間 の経営状況	決算期	年 月 期	年 月 期	年 月 期
	売上高	千円	千円	千円
	経常利益	千円	千円	千円
	自己資本比率	%	%	%

$$\text{※自己資本比率} = \frac{\text{自己資本}}{\text{総資本}} \times 100 (\%)$$

7 その他特記事項

(これまでの項目では伝えきれなかったアピールポイントについてご記入ください。経営状況に不利な数字がある場合、その原因の分析ができていれば、その内容をご記入ください。)

8 アンケート ※今後の本制度の運営の参考にさせていただきます。

Q 1. 「千葉ものづくり認定製品」を知っていましたか。

はい ・ いいえ



Q 2. 募集を何で知りましたか。

- ・ 千葉県ホームページ
- ・ 募集チラシ
- ・ 千葉県広報公式 X (旧 : Twitter)
- ・ (公財) 千葉県産業振興センターからの紹介
- ・ 東葛テクノプラザからの紹介
- ・ 産業支援技術研究所からの紹介
- ・ 商工会又は商工会議所からの紹介
- ・ 市町村からの紹介
- ・ その他 ()



Q 3. 本事業に期待することは何ですか。

(様式第2号)

「千葉ものづくり認定製品」に係る誓約書

「千葉ものづくり認定製品」の認定を受けるにあたり、次の事項に留意することを誓約します。

- 1 千葉ものづくり認定製品認定要領を誠実に遵守します。
- 2 認定を受けた製品の品質、生産、販売等に関する事故や、産業財産に係る権利関係に関する問題等が生じたときは、当方がその責任を負い、適正に対処します。
- 3 申請者の役員等（申請者が個人である場合にはその者を、申請者が法人である場合にはその代表者、非常勤を含む役員、その支店若しくは営業所を代表する者又は経営に実質的に関与しているものをいう。）が、千葉ものづくり認定製品認定要領第3条第4号別記1に規定する1から5のいずれにも該当せず、将来においても該当しないことを誓約します。

また、千葉ものづくり認定製品の申請をするに当たり、上記内容に該当しないことを確認するため、千葉県が千葉県警察本部に照会することについて承諾します。

なお、誓約した内容と事実が相違することが判明した場合には、認定を受けられないこと又は認定の決定を取り消されることになっても異議はありません。

また、これによって生じた損害については、当方が一切の責任を負うものとします。

年 月 日

千葉県知事 熊谷 俊人 様

住 所 〒

会 社 名

代表者氏名

印

<注意事項>

電子申請の場合、押印した誓約書をデータ化して電子申請に添付し、原本は申請者自身で保管しておくこと。